



会派を構成しない議員

こ ぬま みつ よ
小 沼 光 代



同じお金をかけるなら、足利名物として集客力・収益を生む施設に！

質問

足利市新クリーンセンター整備・運営事業要求水準書では、必須施設として5レーン以上の25メートルプールやトレーニング室等、大型スポーツクラブと変わらない施設が記載されているが、これらの施設が付加されることになった経緯を具体的に聞きたい。

回答

余熱体験施設は、ごみ処理施設の計画地となる地元からの要望なども踏まえ、令和2年2月に策定した足利市一般廃棄物処理施設整備基本計画において、余熱体験による環境教育などのテーマを掲げて進めることとしている。可能な限り経済性を確保した施設となるよう、事業者からの提案に基づき、適切な整備を進めていく。

ひと言

カリビアンビーチを望む声が出るとは意外でしたが、ミニ版はありかもしれないと考えます。



会派を構成しない議員

お ぜき えい こ
尾 関 栄 子



市民の外出・移動手段の確保！

質問

佐野市では生活路線バスに加え、葛生など4か所のエリアでデマンド交通を運行しており、そのほかにも高齢者にタクシー料金の助成を行っている。本市では、高齢者の交通手段が不足していることから、高齢者に対してタクシー券を配布すべきではないか。

回答

高齢者の外出支援、移動手段の確保は課題であり、タクシー料金の助成も一つの方法として捉えているが、導入には財源の確保が前提である。先行自治体では、厳しい財政状況により、見直しを検討している例もある。持続可能な制度という視点も含めて検討しなければならないため、現時点での導入は困難である。

ひと言

高齢者の通院や買物支援は喫緊の課題である。生活路線バスの拡充、デマンドタクシーの実施が求められています。

PICK UP

全国市議会議長会から表彰状及び感謝状が贈呈されました！

令和5年6月14日に開催された第99回全国市議会議長会定期総会において、齋藤昌之議員が市議会議員在職15年以上として、表彰を受けられました。ならびに、令和4年度に全国市議会議長会国会対策委員会副委員長を務めた栗原収議員に対し、感謝状が贈呈されました。本市議会はその功労に対して敬意を表し、令和5年6月30日に永年在職議員等表彰に係る伝達式を行いました。



▲栗原 収議員（前列左側）、齋藤 昌之議員（前列右側）



あしかが自民党議員会

く り はら おさむ
栗 原 収



市長として1期目折り返しまでの評価と今後の取組について問う！

質問

市長就任後2年が経過したが、市長が市長選挙の際に発表した政策集の「次の100年のための5つの柱+1」で掲げた施策について、残任期間の中でどのように仕上げようと考えているのか。また、重点施策等について聞きたい。

回答

政策集に掲げた施策は、第8次足利市総合計画に盛り込んでおり、計画の具現化を図る中で仕上げていきたい。大型プロジェクトである新たな産業団地の開発や（仮称）足利スマートインターチェンジの設置、中橋付近の堤防のかさ上げとそれに伴う中橋の架け替えに全力で取り組むほか、大型公共施設の更新や公共施設マネジメントなどにも注力していく。

ひと言

大型公共施設再編などのインフラ整備等は、限られた予算の中でいかに効率的に執行するかが重要です。